

# 千葉市内を流れるおもな河川

どんな特徴があるのかな？

海にほど近い千葉市を流れる河川は、背後に水源となる山脈がないため、湧水と生活排水にその水源をたより、海拔 10～20m 位の低地の谷津の間をぬって流れています。水量が少なく、川幅がせまいという特徴をもつ市内の河川ですが、農業用水等として利用されるだけでなく、いろいろないきものが集まる場となっています。ここでは、おもな河川を紹介していきます。

印旛沼（水道水源）に注ぎ込む

鹿島川（一級河川）

▶くわしくは P6

流域面積は市内最大

都川・支川都川（二級河川）

▶くわしくは P4

森と田園風景の広がる

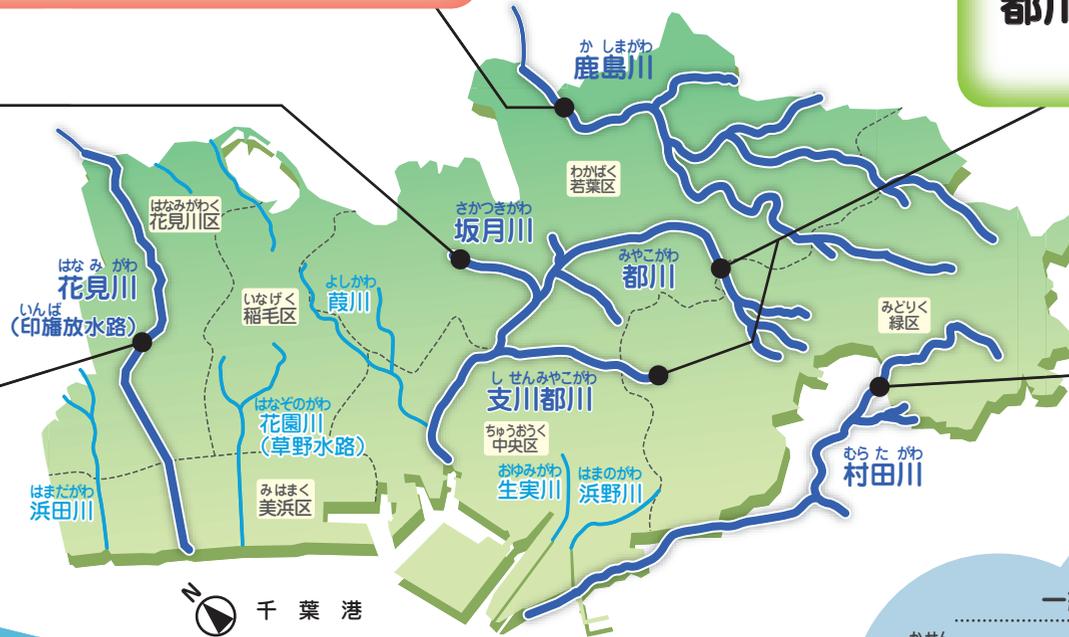
坂月川（二級河川）

▶くわしくは P5

緑の豊かな憩いの場

花見川（一級河川）

（印旛放水路）▶くわしくは P7



地域の農業を支える

村田川（二級河川）

▶くわしくは P8

## もくじ

千葉市内を流れるおもな河川

1

さまざまな川の環境

3

河川といきもの情報

4

（都川・支川都川、坂月川、鹿島川、花見川、村田川）

生物多様性ってなに？

9

## 一級河川、二級河川ってなに？

河川には、等級があります。一級河川は、私たちの暮らしを守り、産業を発展させるうえで特に重要なかわりをもっている水系のうち、国土交通大臣が指定した河川です。二級河川は、一級水系以外の比較的流域面積が小さい水系のうち、都道府県知事が指定した河川です。